

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
R3年 6月 29日	
愛知県知事 殿	
提出者 住 所愛知県知多郡東浦町大字緒川字14番地6 氏 名 高木建設株式会社 代表取締役 高木 和人 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0562-83-2690	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	高木建設株式会社
事業場の所在地	愛知県知多郡東浦町大字緒川字旭14番地6
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 56455
③ 従業員数	21人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	土木工事業：がれき類（Con塊）→自ら中間処理し再資源化 ：がれき類（As塊）→中間処理業者へ委託し再資源化 解体工事業：がれき類（Con塊）→自ら中間処理し再資源化 ：その他産業廃棄物→中間処理業者（破碎・選別）へ委託

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 本社：産業廃棄物処理統括責任者 各現場：工事責任者 産業廃棄物管理責任者 RCプラント：工場長 産業廃棄物処理責任者 事務所：総務部 産業廃棄物管理担当者			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（ R2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（Con塊）	がれき類（A s 塊）
	排 出 量	921 t	326 t
	（これまでに実施した取組） 各現場において廃棄物の分別		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（Con塊）	がれき類（A s 塊）
	排 出 量	1000 t	1000 t
	（今後実施する予定の取組） 各現場において廃棄物の分別の徹底		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） がれき類（Con塊）、がれき類（As塊）は現場にて分別して搬出 木くず、廃プラスチック類は細分して分別保管		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 今後も現状を維持していく		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ R2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（Con塊）	がれき類（A s 塊）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（Con塊）	がれき類（A s 塊）
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ R2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（Con塊）	がれき類（A s 塊）
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	921 t	32 t
	（これまでに実施した取組） 破碎して再生砕石として再利用 継続してあいくる認証取得		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（Con塊）	がれき類（A s 塊）
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1000 t	300 t
	（今後実施する予定の取組） 今後も継続していく		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ R2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（Con塊）	がれき類（A s 塊）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（Con塊）	がれき類（A s 塊）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ R2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（Con塊）	がれき類（A s 塊）
	全 処 理 委 託 量	0 t	3730 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	0 t	14 t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	0 t	297 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0 t	8 t
	（これまでに実施した取組） 各現場にて弁別されたアスファルト塊は中間処理業者へ委託し再資源化 その他の廃棄物は中間処理業者へ委託し、可能な限り再生利用業者へ処理する		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（Con塊）	がれき類（A s 塊）
	全 処 理 委 託 量	0 t	300 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も現状を維持していく		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
①現状	【前年度（ R2 年度） 実績】				
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック
	排 出 量	14t	2t	3411t	8t
	(これまでに実施した取組)				
	現場における廃棄物の分別				
②計画	【 目 標 】				
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック
	排 出 量	20t	10t	10t	10t
	(今後実施する予定の取組)				
	現場における廃棄物の分別の徹底				
産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
①現状	【前年度（ R2 年度） 実績】				
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック
	全処理委託量	14t	2t	3411t	8t
	優良認定処理業者への 処理委託量	14t	0t	0t	0t
	再生利用業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	0t	0t	8t
	(これまでに実施した取組)				
	各現場において、がれき類とその他の廃棄物を分別し、その他の廃棄物は中間処理業者に委託し選別し、可能な限り再生利用業者へ処理する。				
②計画	【 目 標 】				
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック
	全処理委託量	20t	10 t	10t	10t
	優良認定処理業者への 処理委託量	14t	0t	0t	0t
	再生利用業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	0t	0t	8t
	(今後実施する予定の取組)				
	各現場において、がれき類とその他の廃棄物を分別し、その他の廃棄物は中間処理業者に委託し選別し、可能な限り再生利用業者へ処理する。				

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
①現状	【前年度(R2 年度) 実績】				
	産業廃棄物の種類	動植物残さ	ガラス・陶磁器		
	排 出 量	0t	1t		
	(これまでに実施した取組)				
	現場における廃棄物の分別				
②計画	【 目 標 】				
	産業廃棄物の種類	動植物残さ	ガラス・陶磁器		
	排 出 量	10t	0t		
	(今後実施する予定の取組)				
	現場における廃棄物の分別の徹底				
産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
①現状	【前年度(R2 年度) 実績】				
	産業廃棄物の種類	動植物残さ	ガラス・陶磁器		
	全処理委託量	0t	1t		
	優良認定処理業者への 処理委託量	0t			
	再生利用業者への 処理委託量	0t			
	認定熱回収業者への 処理委託量	0t			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	1t		
	(これまでに実施した取組)				
各現場において、がれき類とその他の廃棄物を分別し、その他の廃棄物は中間処理業者に委託し選別し、可能な限り再生利用業者へ処理する。					
②計画	【 目 標 】				
	産業廃棄物の種類	動植物残さ			
	全処理委託量	10t			
	優良認定処理業者への 処理委託量	0t			
	再生利用業者への 処理委託量	0t			
	認定熱回収業者への 処理委託量	0t			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	1t			
	(今後実施する予定の取組)				
各現場において、がれき類とその他の廃棄物を分別し、その他の廃棄物は中間処理業者に委託し選別し、可能な限り再生利用業者へ処理する。					